

IT 詐欺に騙されないために！

新型コロナウイルスの流行により、自宅でスマホやパソコンに触れる時間が増えていませんか？ IT 詐欺犯罪者は巧みな手段で皆さんを騙そうとしていますので注意が必要です。今回はさまざまな手口の例を紹介しますので、被害に遭わないように注意点を再確認してください。

① フィッシング

銀行やクレジットカード会社、オンラインショッピングサイトなどを騙った偽メールで本物のそっくりの偽ページに誘導し、住所、氏名、銀行口座番号、クレジットカード番号などを入力させて盗み出す手口を言います。

② クリック請求（罨サイト）

ホームページ内の特定のボタンや画像をクリックすると、有料サービスの登録がされたという画面が表示され、入会金や使用料等が請求されることをいいます。以前は「ワンクリック詐欺」とも呼ばれていましたが、最近は関係法令に定められた表示や確認画面を用意するなど詐欺とは即座に判断できない「罨サイト」、料金を払うまで警告音と請求画面が出続けるサイトなども存在します。



③ 偽ウイルス対策ソフト詐欺

実際にはウイルスに感染していないにもかかわらず「ウイルスに感染した」という嘘のメッセージを表示し、偽ウイルス対策ソフトを購入させようとする詐欺行為を言います。このソフトは、単に偽物であるだけでなく、パソコンから個人情報などを盗み出すウイルスの場合もあります。

● 詐欺に遭わないために！

- ① 個人情報について、メールでの問い合わせには絶対に応じない。
- ② 不審なメールは無視し、書かれているアドレス（URL）はクリックしない。
- ③ よく知らないホームページでは不用意にクリックしたり、プログラムをダウンロードしない。
- ④ ブラウザやウイルス対策ソフトはこまめに最新バージョンへ更新する。

● もし、引っかかってしまったら？

絶対に相手と連絡は取らないで、国民生活センター（☎188）や道立消費生活センター（☎050-7505-0999）、警察本部のサイバー犯罪相談窓口（☎#9110）などに相談しましょう。

● 車上ねらいにも引き続き注意を！

昨年秋頃より、苫小牧警察署管内では車上ねらいによる被害が多発しています。被害の内容としては、自宅駐車場内（アパートなどの共同住宅を含む）での駐車中に窓ガラスが割られ、中に置きっ放しの財布やバッグなどが盗まれるケースが多いようです。駐車する際は、自宅だからと油断せず、①窓から見える場所に荷物を置かない、②少しの時間でも必ず施錠する。を徹底するようにしましょう。

また、不審な人物を見かけた際は警察署または最寄りの駐在までご連絡ください。

不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎0144 ⑤0110 追分駐在所 ☎⑤2003 安平駐在所 ☎③2339
早来駐在所 ☎②2030 遠浅駐在所 ☎②2211 役場総務課 ☎②2511